

2020年11月6日

西脇市議会
議長 村井 公平様

請願書 陳情書	受付第	1号
令和2年 11月 16日		
西脇市議会事務局		

紹介議員

村井 正信
寺北 康樹

請願者



核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択 と非核平和都市宣言の決議を求める請願

【請願理由】

今年、2020年は広島・長崎への原爆投下から75年です。核兵器は今なお全人類の脅威です。現在、1万4千発近く核弾頭が存在し、2千発近くの核ミサイルが直ちに発射できる状態にあります。被爆者は「核兵器と人類は共存できない」「ふたたび被爆者をつくるな」と世界に訴え続け2017年、国連において、核兵器にかかわるあらゆる活動を禁止した「核兵器禁止条約」が採択されました。そして、国連創設デーの10月24日、核兵器禁止条約は発効に必要な50カ国の批准を達成し、90日後の2021年1月22日に発効が確定、歴史上初めて核兵器を違法とする国際条約ができます。

核兵器禁止条約は前文で、「ヒバクシャの許容しがたい苦しみと被害に留意」し「核兵器のいかなる使用も人道の原則に反する」と明記しています。この条約により、核兵器の保有や使用はもちろん、核兵器にかかわるあらゆる活動が禁止され、「抑止力」の名で核兵器を持ち続けることは正当化できなくなります。唯一の戦争被爆国でありながら、禁止条約に背を向け続けている日本政府に対し、国内外から厳しい批判の声があがっています。

人類と地球の生存に対する二大脅威の核兵器と気候変動、そしてコロナ危機のもと、世界は転換点に立っています。今こそ、核兵器の恐怖から脱却する時です。

兵庫県議会は2017年、全会派一致で「非核平和宣言」を採択しました。「ヒバクシャ国際署名」は県知事・県下全首長が署名しています。そして1,261万人を超える署名が国連に届けられました。国内外の広範な世論に応じて、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に参加するとともに、「核兵器のない世界」をめざす世界的流れの先頭に立つことを求めます。政府に核兵器禁止条約参加を求める意見書を提出して下さい。

そして、兵庫県下41市町中、2市2町だけが未採択となっている、「非核平和都市宣言」を西脇市議会も再度決議して下さい。

【請願項目】

- 1、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印することを求める意見書を提出して下さい。
- 2、旧西脇市議会（昭和62年5月議会）において決議されていた非核平和都市宣言を再度決議して下さい。